

特長

この製品はAC100V仕様の感知フラッシュバルブ(TEA99FX)、自動水栓(TEL30AFX他)とセットで使用する制御盤です。セットで使用することにより次の機能が追加されます。

- 1.凍結予防機能
 - ①自動流動動作
 - ④水温センサー使用の場合
 - ⑤水温センサー未使用の場合
 - ②固定流動動作
- 2.漏電・過電流保護機能
- 3.掃除用洗浄機能

各機能の説明

- 1.凍結予防機能
 - ①自動流動動作
 - ④水温センサー使用の場合
気温センサーと水温センサー(TES12)により温度を感知し、凍結しそうな温度になると器具(感知フラッシュバルブまたは自動水栓)に間欠的に吐水信号を出し自動的に流動して、器具を凍結破損から守ります。
吐水間隔は気温と水温により変化します。
 - ⑤水温センサー未使用の場合
気温センサーにより温度を感知し、凍結しそうな温度になると器具(感知フラッシュバルブまたは自動水栓)に間欠的に吐水信号を出し、自動的に流動して器具を凍結破損から守ります。

ご注意

- 水温センサーは別売のTES12をご使用ください。
- 水温センサー未使用でも動作しますが、水温センサー使用時と比べて吐水量が多くなる場合があります。

- ②固定流動動作
温度に関係なく一定の間隔にて間欠的に流動させます。間隔はスイッチで切替可能です。

※詳しい取扱いは5ページをご覧ください。

- 接続負荷は、2系統あります。1系統負荷は感知フラッシュバルブ10台まで、2系統負荷は感知フラッシュバルブまたは自動水栓のいずれか10台まで接続できます。なお接続台数にかかわらず器具元の給水圧力は感知フラッシュバルブは0.07MPa(0.7kgf/cm²)以上、自動水栓は0.05MPa(0.5kgf/cm²)以上必要です。

- この「ご愛用のしおり」では制御盤についてのみ記載していますので必ず感知フラッシュバルブ・自動水栓の「ご愛用のしおり」とあわせてご覧ください。
- 制御盤の扉はかざかけられます。かざは、当しおりに同封していただきますので紛失しないように保管してください。

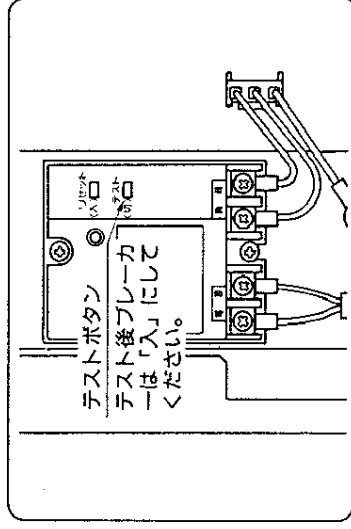
ご注意

この製品は、次の製品とセットで使用してください。

- 感知フラッシュバルブ…TEA99FX
自動水栓…TEL30AFX、TEL30BFX、TEL31AFX、TEL31BFX
小便器……流動方式小便器(UJ808F等)

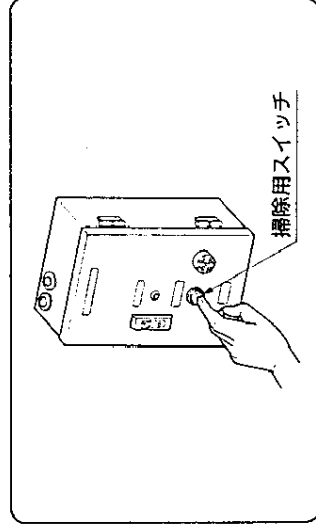
2.漏電・過電流保護機能

内蔵されたブレーカー及びヒューズにより、漏電・過電流から人体や器具を保護します。
ブレーカーは月に1回以上テストボタンを押し、動作を確認してください。
なおテスト後ブレーカーを「入」にしたとき感知フラッシュバルブ及び自動水栓が作動しますが、故障ではありません。

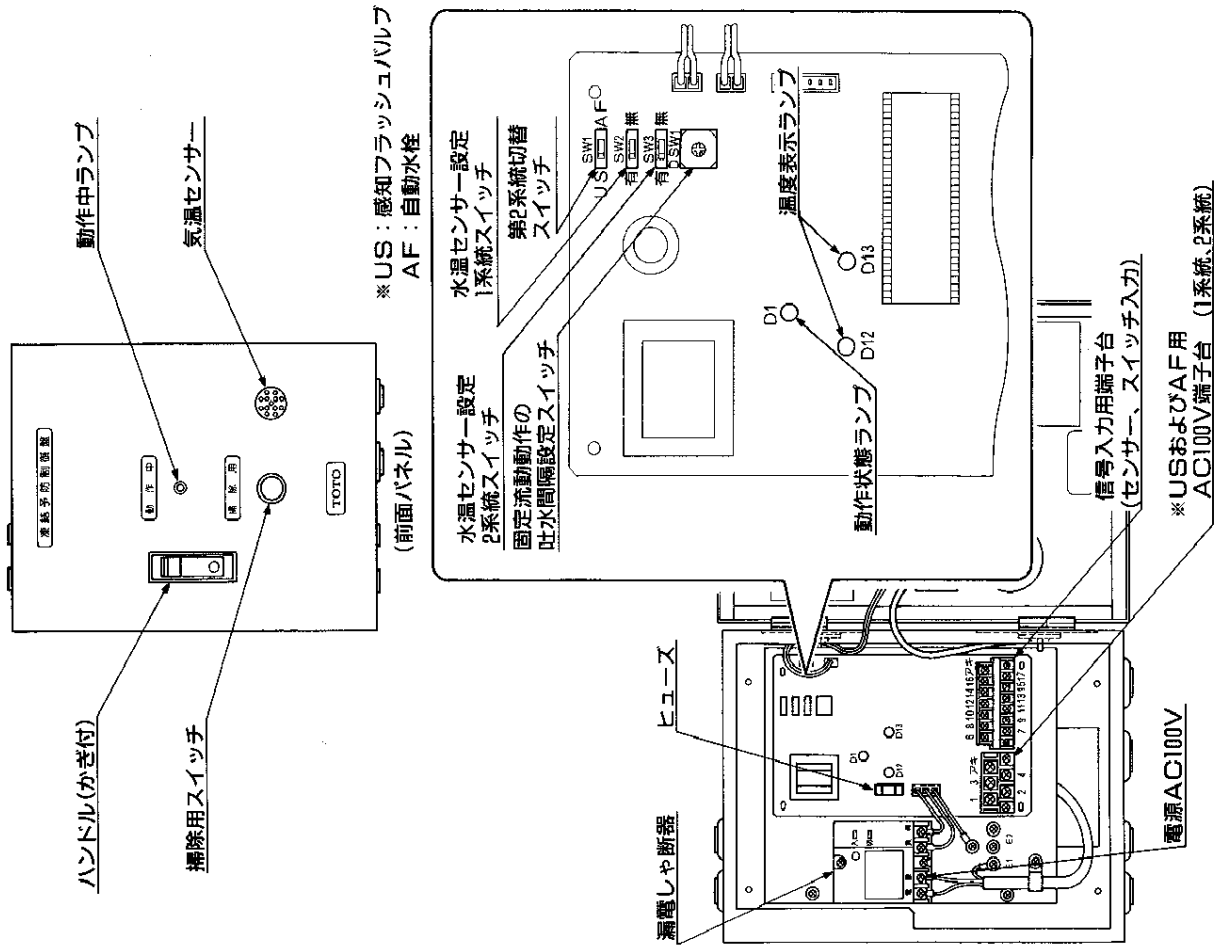


3.掃除用洗浄機能

掃除用スイッチを押すと、まず1系統の感知フラッシュバルブが動作し吐水して、約20秒後2系統の感知フラッシュバルブまたは自動水栓が動作し吐水します。

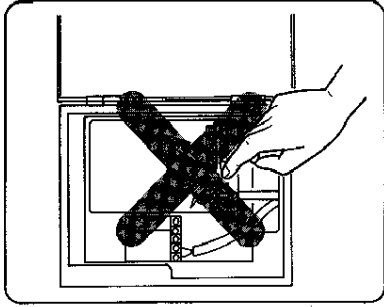
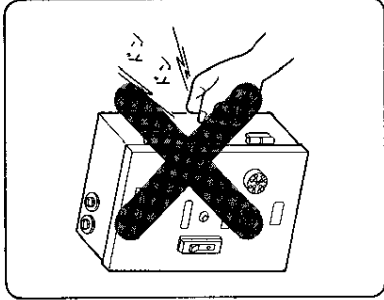
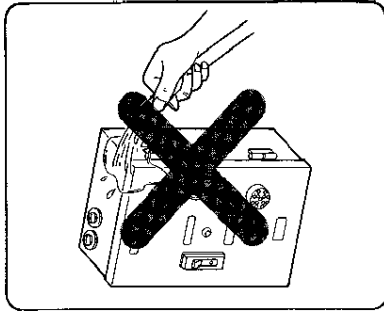


各部のなまえ

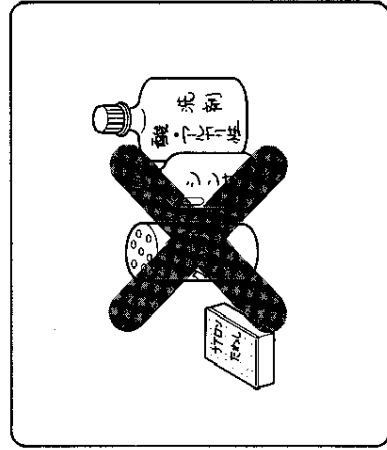


使用上の注意

1. 電気製品ですから絶対に水をかけないでください。
2. 器具に強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
3. 通電しているときは危険ですので端子台には絶対触れないでください。また、危険防止・いたずら防止のため、制御盤の前面パネルにはかぎをかけておいてください。



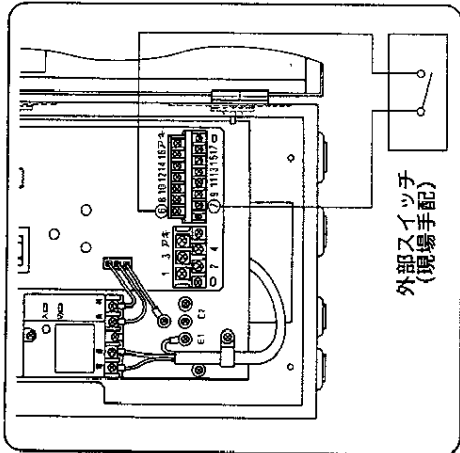
4. 制御盤外装の汚れは布等に適量に薄めた中性洗剤をふくませて拭きとってください。そのあと水をふくませた布をよく絞って洗剤を拭きとり、最後にかき粉や粗い粒子を含む洗剤、シンナー、ベンジン、酸性やアルカリ性の洗剤およびナイロンたわしなどは、器具表面を傷つけたり侵したりしますので使用しないでください。



5. 水温センサー(TES12別売品)「無」でも使用できますが、給水温度を常時凍結しそうな温度とみなして気温センサーだけで自動間欠流動するため、水温センサー「有」の場合より吐水間隔が短くなり、流動水量が多くなる場合があります。

付属機能の詳細説明

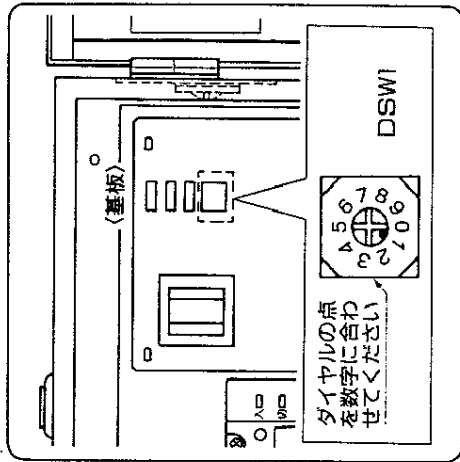
1. 固定流動動作



- 信号入力用端子台のモード切替端子(左図端子№6、7)に外部スイッチを接続し、スイッチを入れると固定流動動作になります。
固定流動動作では温度に関係なく、□ SW1の設定で一定の間隔で間欠流動を行います。スイッチを切ると、自動流動動作へ戻ります。

ご注意

外部スイッチ(切替スイッチ)及び延長コード(0.5mm²又はφ0.8mm以上のコード)は現場手配してください。



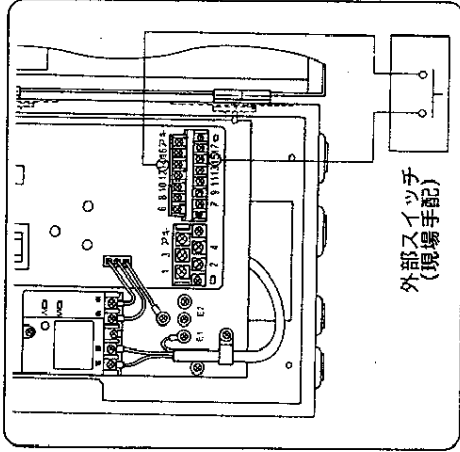
DSW1：固定流動動作の吐水間隔設定スイッチ

吐水間隔は、8段階に設定できます。⊖ドライバード、現場の最低気温の想定値に合わせてください。(表中の℃の欄を参考ください。)工場設定は「1」です。

〈固定流動動作の吐水間隔〉
自動水栓吐水間隔 現場の最低気温の想定
感知フラッシュバルブ吐水間隔

DSWI	SW1	US分	AF分	℃
1	1	100	20	0
2	2	60	12	-2
3	3	30	6	-4
4	4	20	4	-6
5	5	15	3	-8
6	6	10	2.4	-10
7	7	8	1.6	／
8	8	6	1.2	／
9	9	6	1.2	／
0	0	6	1.2	／

2. 掃除用スイッチ



- 信号入力用端子台の掃除用スイッチ端子(左図端子№14、15)に外部スイッチを接続し、スイッチを入れると前面パネルの掃除用スイッチと別に掃除用洗浄ができます。
遠隔操作で一斉洗浄させたい場合にご利用ください。

ご注意

外部スイッチ(押し釦スイッチ)及び延長コード(0.5mm²又はφ0.8mm以上のコード)は現場手配してください。

点検のしかた




製品が正常に動作しているか確認のため、月に1～2回程度次の点検項目にそって、点検してください。

点 検 項 目	参照ページ
1. 前面パネルのランプが点灯しているか。	8
2. 掃除用スイッチを押して洗浄（吐水）するか。	8
3. 漏電しや断器が動作するか。（前面パネルをあけて）	8
4. 基板の動作状態ランプの確認。（前面パネルをあけて）	9
5. 基板の温度表示ランプの確認。（前面パネルをあけて）	10

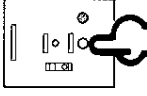
ご注意

- 点検の際は、停電中もしくは断水中ではないか確認してください。
- 前面パネルをあけて点検の際は、漏電しや断器、端子台、基板、スイッチを直接手で触れないでください。
- 点検項目にそって点検して異常がある場合や、不審な場合は、お取付の工事店が最寄の弊社事業所にご相談ください。

1. 前面パネルのランプが点灯しているか

	点灯している	<p>▶ 正常です。</p>
	消灯している	<p>▶ 停電、元電源が切れていないか、点検してください。 漏電しや断器が「切」になっていないか、点検してください。それ以外は、お取付の工事店または、最寄の弊社事業所へご相談ください。</p>
	点滅している	<p>▶ 温度センサー異常です。 4.の「基板の動作状態ランプの確認」で点検の上、お取付の工事店または、最寄の弊社事業所へご相談ください。</p>


2. 掃除用スイッチを押して洗浄（吐水）するか

	洗浄（吐水）する	▶ 正常です。
	洗浄しない	▶ 作動しないときは、お取付の工事店または、最寄の弊社事業所へ、ご相談ください。

ご注意

スイッチ操作は20秒以上間隔をおいて操作してください。連続して押すとその都度1系統の感知フラッシュバルブのみ動作し、2系統の感知フラッシュバルブまたは自動水栓の動作確認ができません。

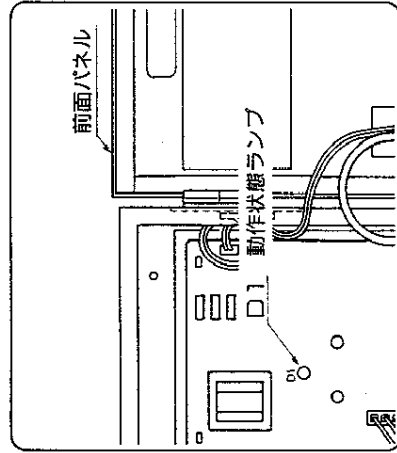
3. 漏電しや断器が動作するか

	リセット	テストボタンを押すと電源が切れる。	▶ 正常です。
	テスト	リセットボタンを押すと電源が入る。	▶ 正常です。

※上記以外は、お取付の工事店または、最寄の弊社事業所へご相談ください。

※リセットボタンを押した後に、1系統の感知フラッシュバルブ及び2系統の感知フラッシュバルブまたは自動水栓が1回作動しますが、故障ではありません。

4. 基板の動作状態ランプの確認



- ① 基板の動作状態ランプ(D11)で次の確認ができます。

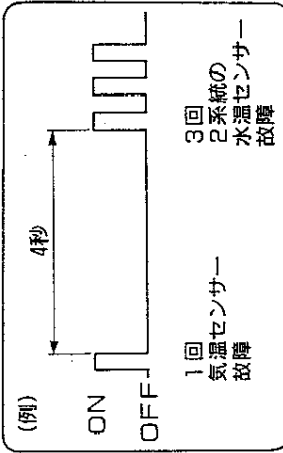
ランプの状態

	点灯している。	流動中です。
	消灯している。	流動していません。
	点滅している。	温度センサーの故障です。

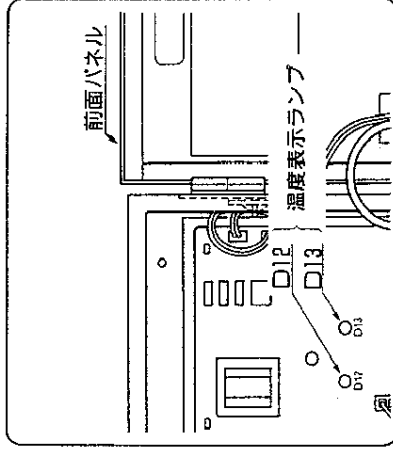


点滅	故障部位
1回	気温センサー
2回	1系統の水溫センサー
3回	2系統の水溫センサー

※故障が重なるときは、各々の間隔を約4秒あけて、順次表示します。



5. 基板の温度表示ランプの確認



- ① 掃除用スイッチを押してください。
- ② 基板の温度表示ランプ(D12、D13)の色(3色)及び点滅により、温度センサーの読みこみ温度が確認できます。
- ③ 気温、水温表示が異常でないか、確認してください。(別の温度計で測った現場の水温、気温と比較してください。)
※異常な温度を表示する場合は、お取引の工事店か、最寄の弊社の事業所にご相談ください。

ランプの見方

D12	D13	D12	D13	D12	D13
同時点灯で温度センサーの種類を表します		点滅回数 × 10°C (D12)		点滅回数 × 1°C (D13)	
オレンジ: 気温 緑: 水温1 赤: 水温2		緑: プラス側温度 赤: マイナス側温度		緑: プラス側温度 赤: マイナス側温度	

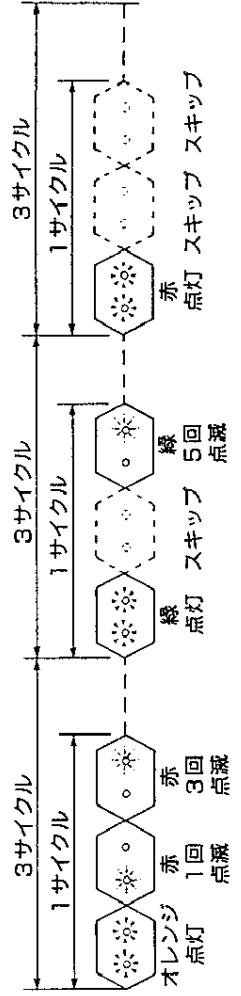
温度 = D12の点滅回数 × 10 + D13の点滅回数 (°C)

----- 計3サイクル表示

- ① 掃除用スイッチを押すと「気温」を3サイクル、「水温1」を3サイクル、「水温2」を3サイクルの順に表示します。

- ② 0°Cの場合は温度センサー表示のみ行い、温度表示をスキップします。

(例) 「気温」-13°C、「水温1」5°C、「水温2」0°Cの場合



アフターサービス

- アフターサービスを依頼される前に、11、12ページの故障したときはの項をもう一度ご確認ください。
- それでも不具合な場合、あるいは不明な場合はご自分で修理せず、お取付工事店または支社・支店・営業所にご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけのときは、次の事をお知らせください。
 - ①製品名：凍結予防制御盤
 - ②型式：TEC6
 - ③故障の現象（できるだけ詳しく。）
 - ④取付年月日
 - ⑤お名前・住所・電話番号
 - ⑥道順

保証について

- 本製品はお取付日から1ヵ年保証です。
「保証書」はお取付工事店からお渡し致しますので、必ずお取付工事店名、取付け日などの記入をお確かめになり、裏面の保証規定をよくお読みのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間中に修理を依頼されるときは、お取付工事店、または当社支店・営業所に「保証書」をそえて修理を依頼してください。
- 保証期間経過後、修理を依頼されるときは、まずお取付工事店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

仕様

品番	TEC6
製品寸法	295(縦)×220(横)×95(奥行)
電源	AC100V 50/60HZ
消費電力	5W以下
接続負荷台数	
1系統負荷	10台まで(感知フラッシュバルブ専用)
2系統負荷	10台まで(感知フラッシュバルブまたは自動水栓切替式)
掃除用スイッチ	モーターリスイッチ
気温センサー	サーミスタ(本体前面パネルに実装)
水温センサー	サーミスタ(別売製品番号TES12)
動作中ランプ	動作表示及び故障表示用
使用周囲温度	-10~50℃
漏電しゃ断器	感度電流15mA高速型

- メモされておくと便利です。

購入年月日	購入店名
年 月 日	電話 ()